

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点 平成27年9月1日発送
平成27年9月11日投函期限
調査対象 信用保証利用先1,500企業
有効回答数 328 企業(回答率 21.9%)

※ 当期: H27年7月～9月実績見込
次期: H27年10月～12月期予測

【DI値について】

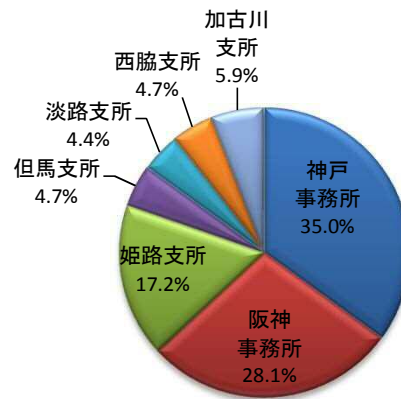
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

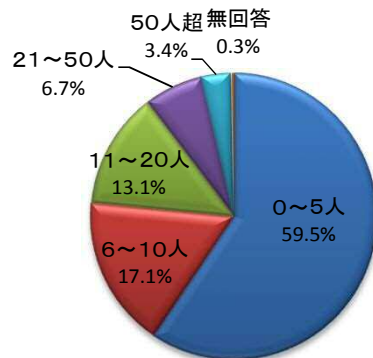
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	112	35.0%
阪神事務所	90	28.1%
姫路支所	55	17.2%
但馬支所	15	4.7%
淡路支所	14	4.4%
西脇支所	15	4.7%
加古川支所	19	5.9%
小計	320	100.0%
地域不明・無回答	8	-
合計	328	-



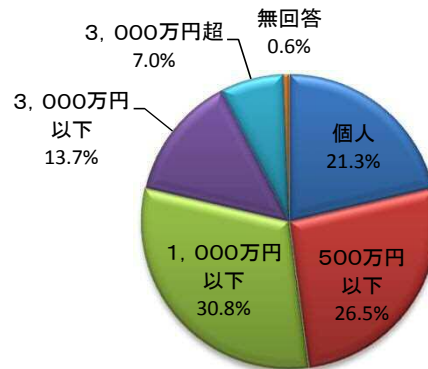
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0~5人	195	59.5%
6~10人	56	17.1%
11~20人	43	13.1%
21~50人	22	6.7%
50人超	11	3.4%
無回答	1	0.3%
合計	328	100.0%



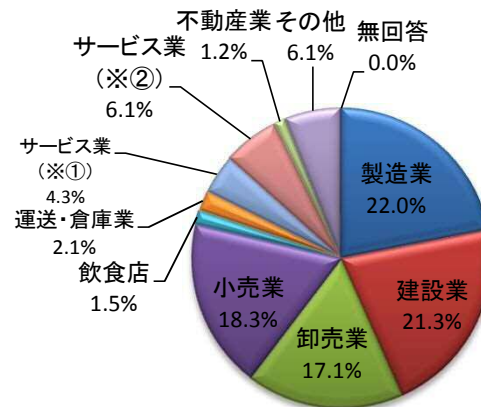
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	70	21.3%
500万円以下	87	26.5%
1,000万円以下	101	30.8%
3,000万円以下	45	13.7%
3,000万円超	23	7.0%
無回答	2	0.6%
総計	328	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	72	22.0%
建設業	70	21.3%
卸売業	56	17.1%
小売業	60	18.3%
飲食店	5	1.5%
運送・倉庫業	7	2.1%
サービス業(※①)	14	4.3%
サービス業(※②)	20	6.1%
不動産業	4	1.2%
その他	20	6.1%
無回答	0	0.0%
合計	328	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(15年7～9月期)は、前期(15年4～6月期)に比べてどのような状況ですか。
 (2) 次期(15年10～12月期)は、当期(15年7～9月期)に比べてどう思いますか。

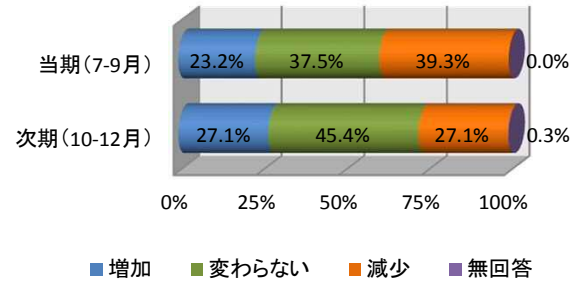
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	76	23.2%
変わらない	123	37.5%
減少した	129	39.3%
無回答	0	0.0%
総計	328	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	89	27.1%
変わらないと思う	149	45.4%
減少すると思う	89	27.1%
無回答	1	0.3%
総計	328	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月(見込み)
兵庫県	▲ 13.1	1.2	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 11.3	▲ 8.7	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.2	0.0

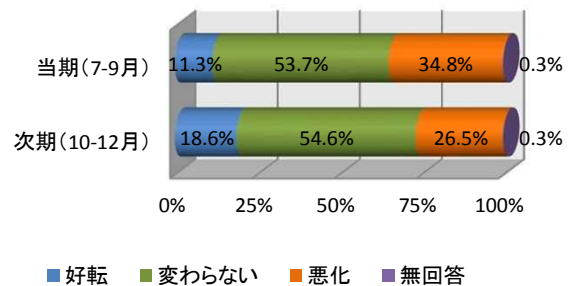
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	37	11.3%
変わらない	176	53.7%
悪化した	114	34.8%
無回答	1	0.3%
総計	328	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	61	18.6%
変わらないと思う	179	54.6%
悪化すると思う	87	26.5%
無回答	1	0.3%
総計	328	100.0%



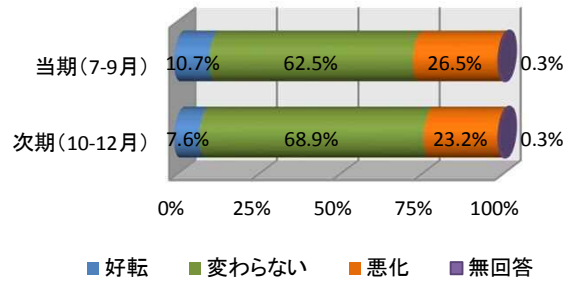
採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月(見込み)
兵庫県	▲ 19.7	▲ 13.0	▲ 19.7	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 18.0	▲ 24.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 7.9

【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	35	10.7%
変わらない	205	62.5%
悪化した	87	26.5%
無回答	1	0.3%
総計	328	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	25	7.6%
変わらないと思う	226	68.9%
悪化すると思う	76	23.2%
無回答	1	0.3%
総計	328	100.0%

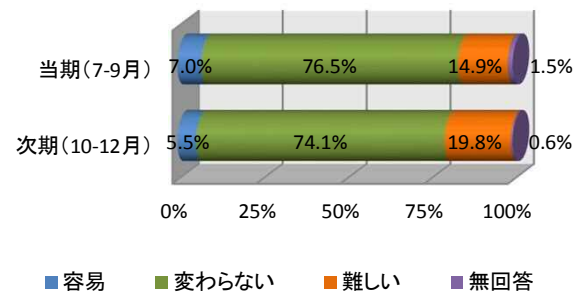
資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2013年7~9月	2013年10~12月	2014年1~3月	2014年4~6月	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月	2015年7~9月	2015年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 16.7	▲ 12.2	▲ 14.6	▲ 15.5	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 20.2	▲ 13.5	▲ 15.9	▲ 15.5

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	23	7.0%
変わらない	251	76.5%
難しくなった	49	14.9%
無回答	5	1.5%
総計	328	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	18	5.5%
変わらないと思う	243	74.1%
難しくなると思う	65	19.8%
無回答	2	0.6%
総計	328	100.0%

借入難易感DI(容易-難しい)

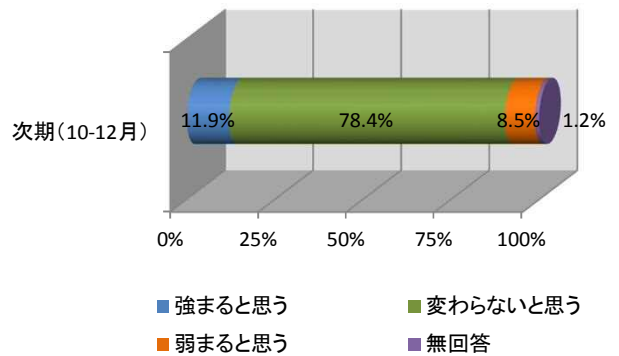
調査時期(実績)	2013年7~9月	2013年10~12月	2014年1~3月	2014年4~6月	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月	2015年7~9月	2015年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 12.5	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 11.7	▲ 8.0	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 7.9	▲ 14.3

当期(7-9月)のDI値は、前回調査時(4-6月)に比べて「採算」が4.8ポイント悪化となっておりますが、その他の項目はほぼ横ばいで推移しています。
次期の見込についても慎重な見方が窺えます。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	39	11.9%
変わらないと思う	257	78.4%
弱まると思う	28	8.5%
無回答	4	1.2%
総計	328	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)

調査時期 (見込み)	2013年 4～6月 (7～9月)	2013年 7～9月 (10～12月)	2013年 10～12月 (1～3月)	2014年 1～3月 (4～6月)	2014年 4～6月 (7～9月)	2014年 7～9月 (10～12月)	2014年 10～12月 (1～3月)	2015年 1～3月 (4～6月)	2015年 4～6月 (7～9月)	2015年 7～9月 (10～12月)
兵庫県	8.9	5.6	6.4	5.9	4.4	8.0	3.6	2.3	5.8	3.4

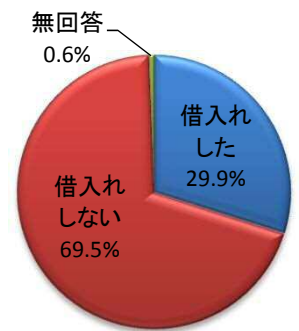
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ. 当期(15年7～9月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
 ※手形の割引は含めません

選択肢	15年7～9月期		15年4～6月期	15年1～3月期	14年10～12月期	14年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	98	29.9%	28.9%	27.4%	30.3%	27.5%
借入れしない	228	69.5%	69.6%	68.1%	67.0%	68.0%
無回答	2	0.6%	1.5%	4.6%	2.7%	4.4%
総計	328	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

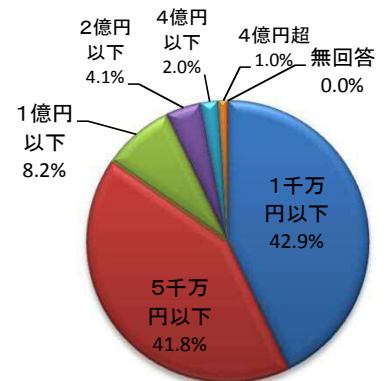
当期「借入れした」とする割合は、前回調査と比べ、1.0ポイント増加しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	15年7～9月期		15年4～6月期	15年1～3月期	14年10～12月期	14年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	42	42.9%	41.4%	39.6%	36.6%	47.0%
5千万円以下	41	41.8%	46.5%	45.8%	44.6%	35.0%
1億円以下	8	8.2%	5.1%	8.3%	8.9%	8.0%
2億円以下	4	4.1%	3.0%	2.1%	4.0%	4.0%
4億円以下	2	2.0%	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%
4億円超	1	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%
無回答	0	0.0%	3.0%	3.1%	5.0%	5.0%
総計	98	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

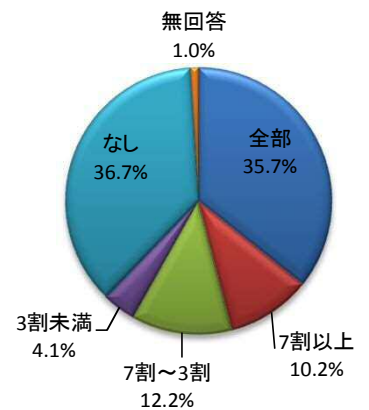
前回調査と比べ、当期の借入れ総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が3.2ポイント減少し、5千万円超では合計で6.2ポイント増加しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

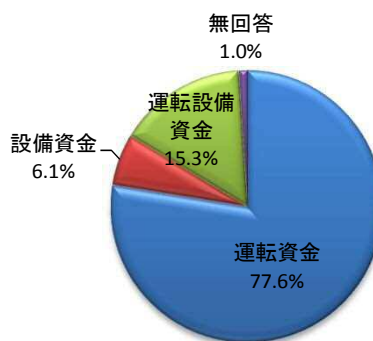
選択肢	15年7～9月期		15年4～6月期
	回答数	構成比	構成比
全部	35	35.7%	37.4%
7割以上	10	10.2%	7.1%
7割～3割	12	12.2%	10.1%
3割未満	4	4.1%	6.1%
なし	36	36.7%	35.4%
無回答	1	1.0%	4.0%
総計	98	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が1.7ポイント減少し、「なし」とする回答が1.3ポイント増加しています。



当期借入金の目的は何ですか。

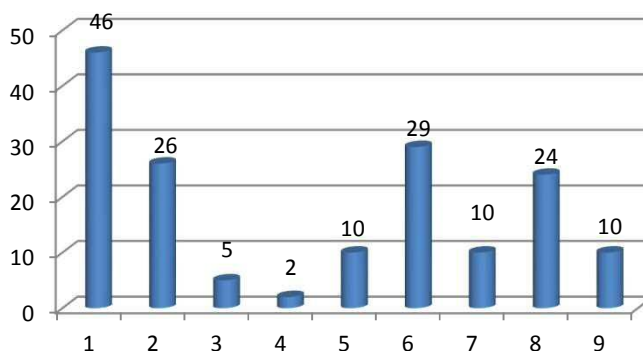
選択肢	回答数	構成比
運転資金	76	77.6%
設備資金	6	6.1%
運転設備資金	15	15.3%
無回答	1	1.0%
総計	98	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

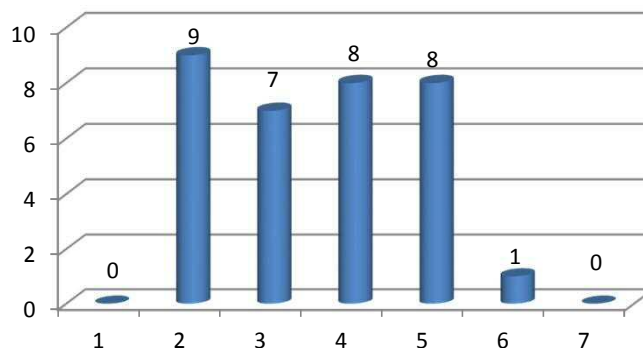
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	46
2 売上減少・赤字補填	26
3 過剰在庫対応	5
4 支払条件短縮対応	2
5 回収条件悪化対応	10
6 売上増加運転資金	29
7 在庫積み増し	10
8 季節運転資金	24
9 その他	10
総計	162



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」「季節運転資金」の順となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

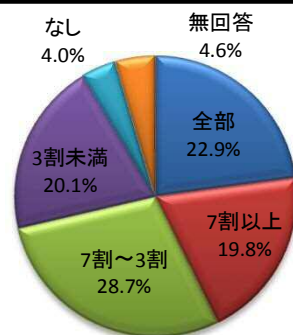
選択肢	回答数
1 新規事業	0
2 生産増強	9
3 合理化・効率化	7
4 設備老朽化に伴う入替	8
5 修理・修繕	8
6 公害防止・環境関連	1
7 その他	0
総計	33



設備資金の種類は、「生産増強」が一番多く、「設備老朽化に伴う入替」「修理・修繕」が同数で続いています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(15年9月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

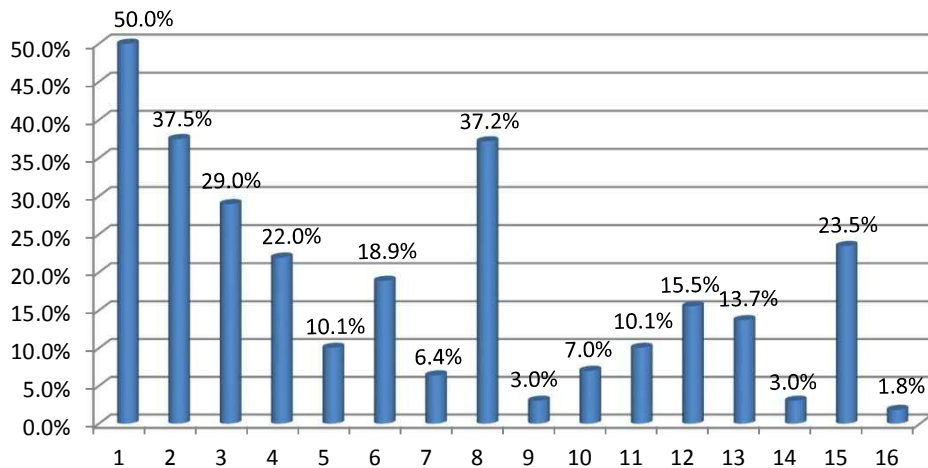
選択肢	15年7～9月期		15年4～6月期
	回答数	構成比	構成比
全部	75	22.9%	23.7%
7割以上	65	19.8%	18.4%
7割～3割	94	28.7%	28.9%
3割未満	66	20.1%	17.8%
なし	13	4.0%	5.8%
無回答	15	4.6%	5.3%
総計	328	100.0%	100.0%



借入総残高に占める信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「7割～3割」の合計が71.4%となっています。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	164	50.0%	9 過剰在庫	10	3.0%
2 競争激化	123	37.5%	10 設備投資	23	7.0%
3 コスト高	95	29.0%	11 後継者難	33	10.1%
4 業界構造変化	72	22.0%	12 資金調達	51	15.5%
5 取引条件の悪化	33	10.1%	13 借入過多	45	13.7%
6 消費者ニーズの多様化	62	18.9%	14 為替	10	3.0%
7 技術・商品開発	21	6.4%	15 消費税増税	77	23.5%
8 人材・労働力の確保	122	37.2%	16 その他	6	1.8%



経営上の課題については、「売上・受注の減少(50.0%)」が最も回答割合が高く、次いで「競争激化(37.5%)」「人材・労働力の確保(37.2%)」「コスト高(29.0%)」の順となっています。

